

2004年6月30日

PKI パッケージ「SSCom」が サイン認証システム「TEGAKI 認証」に対応

PKI とサイン認証が連携した強度の本人認証ソリューションを提供開始

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：堀越 彌、本社：東京都渋谷区）は、自社開発の PKI パッケージ「SSCom（エスエスコム）」に、同じく自社開発の手書きサイン認証システム「TEGAKI（てがき）認証」を対応させ、「PKI+サイン認証」による本人認証ソリューションを、8月より開始いたします。

当社では、ワンストップセキュリティソリューション「SHIELD」を通じ、お客様が抱えるセキュリティ対策の様々な課題に対応できる各種商品・サービスを提供しています。中でも「SSCom」と「TEGAKI 認証」は、盗聴や成りすまし防止などの強固な情報漏洩対策を実現するパッケージ商品として、PKI とバイオメトリクス の両分野で、対応デバイス等を充実させるなど機能強化を図ってきました。

今回の「SSCom」と「TEGAKI 認証」の連携により、本人以外の者によるシステムの不正利用を強く防止でき、情報漏洩・盗難やシステム破壊といった危険を払拭できます。また、サイン入力はノート PC に搭載される「ポインティングパッド」の利用により可能なため、高度な認証は必要だがそのための認証デバイスは携帯したくない・させたくないなどの用途に最適の商品です。

当社では「SSCom」を、金融、医療、公共など高度な認証セキュリティの導入を必要とする業種をはじめ、セキュリティ対策の強化に取り組む企業・自治体に向けて積極的に拡販していきます。

なお、「TEGAKI 認証」に対応した「SSCom」は、6月30日～7月2日に幕張メッセで開催される「NETWORLD+INTEROP 2004」の当社ブースにて出展・紹介します。

(注1) PKI (Public Key Infrastructure) ; 公開鍵認証基盤

(注2) バイオメトリクス認証 ; 人間の特徴を示す生体情報でユーザを特定する認証方法

1. PKI パッケージ「SSCom」の特長

デジタル証明書による本人認証機能や暗号通信 (VPN) 機能により、リモートアクセスシステムや職員認証システムなど、社内業務システムのセキュリティ基盤を提供するパッケージです。

2. 手書きサイン認証システム「TEGAKI 認証」の特長

(1) パスワードに替わるバイオメトリクスを利用したサイン認証

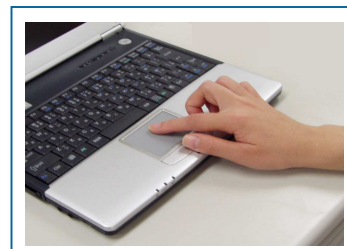
指紋や声紋といったバイオメトリクスの中でも、「行動」というファクターを含めて個人を識別する認証システムです。署名の経年変化（書き癖の変化）まで自動的に吸収・反映する学習機能を備えています。

(2) サイン認証を利用したセキュリティの強化

デジタル証明書/秘密鍵を利用する際の本人確認にサイン認証を利用することにより、他人による成り済ましやシステムの不正利用を防止できます。

(3) サイン認証を容易に導入が可能

ノートパソコンのポインティングパッド上での指サインが可能です。入力タブレットなど追加デバイスが不要なため、コストをかけずにサイン認証を導入できます。



3. 「SSCom」の販売価格・販売目標

- (1) 販売価格： 100 ユーザで 180 万円から（「SSCom」と「TEGAKI 認証」のソフトウェアのみ）
- (2) 販売目標： 3年間で100システム、累計で5億円の売上を計画（ハード、運用・保守費用含む）

4. 問い合わせ先

【商品に関する問い合わせ】

商品問合せセンタ FainDesk（ファインデスク）

TEL 0120-346-401（フリーダイヤル）受付時間 9：00～18：00（土・日・祝日は除く）

FAX 03-3770-5712 e-mail faindesk.p@hitachijoho.com

【発表に関する問い合わせ】

社長室広報・IR グループ 松林（〒150-8540 東京都渋谷区道玄坂 1-16-5）

TEL 03-3464-5073 FAX 03-3496-5684

以上

*サイン認証は日本サイバーサイン株式会社の照合技術を使用しています。